

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年8月12日

【四半期会計期間】 第73期第2四半期(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

【会社名】 第一屋製パン株式会社

【英訳名】 FIRST BAKING CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 門脇 宜人

【本店の所在の場所】 東京都小平市小川東町3丁目6番1号

【電話番号】 042(348)0211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役コーポレート本部長兼経理部長 細貝 正統

【最寄りの連絡場所】 東京都小平市小川東町3丁目6番1号

【電話番号】 042(348)0211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役コーポレート本部長兼経理部長 細貝 正統

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第72期 第2四半期 連結累計期間	第73期 第2四半期 連結累計期間	第72期
会計期間		自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日	自 平成26年 1月 1日 至 平成26年 6月30日	自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日
売上高	(百万円)	12,321	12,645	24,697
経常利益	(百万円)	305	352	486
四半期(当期)純利益	(百万円)	397	301	519
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	509	311	692
純資産額	(百万円)	8,082	8,557	8,257
総資産額	(百万円)	19,231	19,245	19,172
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	5.74	4.35	7.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	41.5	44.0	42.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	543	1,514	736
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,254	273	1,169
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	920	221	1,135
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	2,285	3,198	2,179

回次		第72期 第2四半期 連結会計期間	第73期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日	自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3.58	2.43

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループが判断したものであります。

#### 1．提出会社の代表者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容

##### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の導入後の駆け込み需要の反動減も懸念されましたが、政府の経済政策、金融政策の効果により、企業収益や雇用状況の改善が進み、景気は緩やかな回復基調にあるものの、先行き不安を払拭できるまでには至らない状況で推移いたしました。

製パン業界におきましては、原材料価格の高止まり、エネルギーコストの上昇、消費者の根強い低価格志向により、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当グループでは基本方針に「チームワークとチームプレイ」と「ルールの確認と徹底！」を掲げ、前期に全社一丸となって達成した黒字化を定着させるため、生産面では改善活動のレベルアップを図り、品質と生産性の向上に努めました。

営業面では、大手コンビニエンスストアのプライベートブランド商品とポケモンパンを中心としたキャラクターパンシリーズが好評を博し、売上の確保に貢献いたしました。また、売れ筋商品のリニューアルを積極的に行うことで、売上の維持に努めると共に、引き続き取引条件の改善にも努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のパン部門の売上高は9,675百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ188百万円の増収、和洋菓子部門の売上高は2,018百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ219百万円の増収、その他の売上高は951百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ84百万円の減収となりました。よって、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,645百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ323百万円の増収、前第2四半期連結累計期間比2.6%の増となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、粗利益優先の営業方針の徹底のもと、値引率・原価率の管理強化に努めたこと等により326百万円(前年同四半期は244百万円の営業利益)を計上し、経常利益につきましては、賃貸収入など営業外収益117百万円、支払利息など営業外費用90百万円を計上した結果352百万円(前年同四半期は305百万円の経常利益)、四半期純利益は301百万円(前年同四半期は397百万円の四半期純利益)となりました。

なお、当グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

##### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ73百万円増加し、19,245百万円となりました。負債につきましては、短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、10,688百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益などにより前連結会計年度末に比べ299百万円増加し、8,557百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,018百万円増加し、3,198百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の資金収支は、仕入債務の減少92百万円などを計上しましたが、税金等調整前四半期純利益352百万円、減価償却費341百万円、売上債権の回収646百万円などにより1,514百万円の資金を得ることができました。

なお、前第2四半期連結累計期間に比べ971百万円の収入の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の資金収支は、有形固定資産の取得による支出263百万円などにより273百万円の支出となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間に比べ1,527百万円の支出の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の資金収支は、借入金の返済額142百万円などにより221百万円の支出となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間に比べ698百万円の支出の減少となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、66百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	132,000,000
計	132,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	69,299,000	69,299,000	東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容になんら限定のない 当社における標準となる株式 ・単元株式数1,000株
計	69,299,000	69,299,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日		69,299		3,305		3,659

(6) 【大株主の状況】

平成26年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
豊田通商(株)	愛知県名古屋市千種区名駅4 9 8	23,146	33.40
細貝理栄	東京都大田区	5,926	8.55
細貝隆志	東京都大田区	5,624	8.11
(株)みずほ銀行	東京都千代田区大手町1 5 5	2,379	3.43
昭和産業(株)	東京都千代田区内神田2 2 1	1,456	2.10
日本製粉(株)	東京都渋谷区千駄ヶ谷5 27 5	1,420	2.04
川端泰雅	大阪府大阪市東成区	1,408	2.03
日本興亜損害保険(株)	東京都千代田区霞が関3 7 3	945	1.36
三井住友信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内1 4 1	921	1.32
江崎阿紀子	愛知県一宮市	824	1.19
計		44,051	63.57

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 59,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 69,118,000	69,118	
単元未満株式	普通株式 122,000		
発行済株式総数	69,299,000		
総株主の議決権		69,118	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式1,000株(議決権1個)が含まれております。

2 「単元未満株式」には当社所有の自己株式73株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 第一屋製パン株式会社	東京都小平市小川東町 3 6 1	59,000		59,000	0.08
計		59,000		59,000	0.08

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,218	3,237
受取手形及び売掛金	3,303	2,657
商品及び製品	61	89
仕掛品	23	20
原材料及び貯蔵品	348	233
繰延税金資産	49	44
未収入金	267	99
その他	89	109
貸倒引当金	4	2
流動資産合計	6,356	6,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,718	2,685
機械装置及び運搬具（純額）	2,536	2,592
工具、器具及び備品（純額）	148	137
土地	2,468	2,468
リース資産（純額）	367	334
建設仮勘定	19	0
有形固定資産合計	8,259	8,218
無形固定資産	87	81
投資その他の資産		
投資有価証券	998	1,014
賃貸固定資産（純額）	3,361	3,343
その他	112	102
貸倒引当金	3	3
投資その他の資産合計	4,468	4,456
固定資産合計	12,815	12,756
資産合計	19,172	19,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	935	842
短期借入金	4,416	4,274
リース債務	103	68
未払消費税等	92	142
未払費用	1,043	1,204
未払法人税等	83	55
賞与引当金	75	70
その他	207	158
流動負債合計	6,957	6,816
固定負債		
リース債務	108	102
繰延税金負債	800	803
退職給付引当金	2,480	2,414
長期預り金	468	449
資産除去債務	99	100
固定負債合計	3,957	3,871
負債合計	10,914	10,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,305	3,305
資本剰余金	3,659	3,659
利益剰余金	947	1,248
自己株式	9	9
株主資本合計	7,902	8,203
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	253	260
その他の包括利益累計額合計	253	260
少数株主持分	101	92
純資産合計	8,257	8,557
負債純資産合計	19,172	19,245

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,321	12,645
売上原価	8,646	8,814
売上総利益	3,674	3,830
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 3,430	<sup>1</sup> 3,504
営業利益	244	326
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	12
賃貸収入	115	80
その他	29	24
営業外収益合計	155	117
営業外費用		
支払利息	54	46
賃貸費用	31	27
その他	9	16
営業外費用合計	95	90
経常利益	305	352
特別利益		
固定資産売却益	151	-
特別利益合計	151	-
税金等調整前四半期純利益	456	352
法人税、住民税及び事業税	72	44
法人税等調整額	19	3
法人税等合計	52	47
少数株主損益調整前四半期純利益	403	304
少数株主利益	6	3
四半期純利益	397	301

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	403	304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	7
その他の包括利益合計	105	7
四半期包括利益	509	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503	308
少数株主に係る四半期包括利益	6	3

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	456	352
減価償却費	331	341
退職給付引当金の増減額（は減少）	89	65
賞与引当金の増減額（は減少）	45	5
貸倒引当金の増減額（は減少）	2	1
受取利息及び受取配当金	11	12
支払利息	54	46
固定資産売却損益（は益）	151	-
売上債権の増減額（は増加）	109	646
たな卸資産の増減額（は増加）	32	89
前渡金の増減額（は増加）	4	6
仕入債務の増減額（は減少）	100	92
未払消費税等の増減額（は減少）	61	50
未払費用の増減額（は減少）	143	161
その他	21	20
小計	861	1,484
利息及び配当金の受取額	11	12
利息の支払額	53	45
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	275	62
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>543</b>	<b>1,514</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	128	263
有形固定資産の売却による収入	1	0
有形固定資産の除却による支出	1	1
無形固定資産の取得による支出	0	3
投資有価証券の取得による支出	5	5
賃貸固定資産の売却による収入	1,389	-
その他	0	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,254</b>	<b>273</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	822	142
長期借入金の返済による支出	20	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	65	67
自己株式の純増減額（は増加）	0	-
少数株主への配当金の支払額	12	12
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>920</b>	<b>221</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	1
<b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>883</b>	<b>1,018</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,402	2,179
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1 2,285</b>	<b>1 3,198</b>

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
運送費	1,587百万円	1,626百万円
給料及び諸手当	721	718
賞与引当金繰入額	56	81
退職給付費用	37	41

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
現金及び預金	2,374百万円	3,237百万円
預入期間が3か月超の定期預金	89	39
現金及び現金同等物	2,285	3,198

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

当グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

当グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円74銭	4円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	397	301
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	397	301
普通株式の期中平均株式数(千株)	69,241	69,239

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月12日

第一屋製パン株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂 田 純 孝

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 下 田 琢 磨

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている第一屋製パン株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、第一屋製パン株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。